

東北関東大震災 救援物資続々、更なる協力を！！



【地震直後仙台市内 3/12 先遣隊撮影】

佐藤鉄筋で社員カンパ

十五日の職場班の班会で災害募金をお願いしたところ、「今日はみんなが集まるので話してみよう」と事務の佐藤さんが応えてくれました。

早速、血圧測定を待っている間に話してくれ、社長さんはじめ二十三名の方々より22000円が寄せられました。「テレビなどで悲惨な状況が報道され何もしないでは、いられないからだと思っています」と寄せられた募金をみて話してくれました。

班長、私も何か協力を！

五学区支部のある班長さんは、早速医療生協から届いた「対策本部ニュース」を持ちながら組合員宅を訪問し、支援カンパを集めて組織部に届けてくれました。

個人組合員さんへ機関紙配布しているつながりで、支援のカンパにも快く応じてくれたと嬉しそうに話してくれました。また、「医療生協の迅速な情報と支援活動に大変驚いた」とも話してくれました。

毛布など続々届いています

由良で民宿を営む組合員さん達からは毛布、肌掛け布団など多数提供して頂きました。また、ビビを利用しての組合員さんからも毛布などを提供して頂きました。善意の物資が続々と届いています。

組織部へも集まった毛布等の整理と発送準備に組合員さん達が駆けつけてくれました。組合員の皆様ありがとうございます。

お〜い！ボランティア募集

提供された物資の整理、発送準備、回収作業など人手が足りません！協力して頂ける方は

組織部 TEL22・5769

へ連絡お願いします。



【救援物資の整理と発送準備中】



【第3便救援物資の壮行会の様子】

物資・カンパまだ足りない
タオルケット・毛布・カセットコンロ・
ボンベほか
まだ救援物資が足りません。連絡頂ければ取りに伺います。ご協力宜しくお願いします。